

湖東信金近江八幡支店

貸出金が前年比54%増

M&A資金も融資



中野 支店長

2018年度は貸出金を前年比54・6%増の13億2200万円を伸ばさせた。

同店はJR近江八幡駅近くに立地。12年に

出店し、最も後発のため「地域シェアの向上が課題」（矢島之貴常務理事）。

中野支店長は17年6月に着任。「得意先担当者が主体的に活動することが大切」との考えから、担当者との個別面談では主に聞き役

に回るといふ。井上直登係長は「意見を尊重してくれるため、事前に考え方をしっかり整理してから面談に臨む」と話す。

中野支店長は常に「顧客のためになるのか」を部下に問う。例えば、創業数年の企業への融資で手形貸付

か、与信枠の設定か。一「ケース・バイ・ケースで答えはないが、各企業の実態を把握して最適な対応を考



奥井グループの奥井代表（左）と打ち合わせをする井上係長（右）と中野支店長（4月23日、近江八幡市内）

えるのが肝要」（中野支店長）。

こうした姿勢は顧客にも伝わる。18年7月、総合建設業を営む「奥井グループ」（奥井敦史代表）から、企業買収の相談を受けた。得

意先担当者が、同社の会議に出席するほどの関係を築いていたためだ。本部と連携し、コ

ンサルディング会社を紹介。また、奥井グループの社員や顧問税理士などにヒアリングし

た内容を基に、買収後の事業計画を作成し助言。「先を読む提案や行動」（奥井代表）が評価され、19年3月にM&A（合併・買収）資金として1億3千万円を融資した。

中野支店長は「今後も事業性融資を伸ばし、存在感を示したい」としている。

19年3月末業況は預金98億4200万円、貸出金37億4200万円。

【大阪】湖東信用金庫近江八幡支店（中野雅人支店長＝職員9人うち女性2人）は、事業性融資の増強で成果をあげている。得意先担当者が企業へ通ってニーズを聞き出し、情報提供しながら信頼を築く「地道な活動」（中野支店長）を展開。